

微粒子：Fine Particle

粒子はその大きさによって物理的特性が大きく変わることが常であり、一般に $100\mu\text{m}$ (1 万分の 1 メートル) 程度以下の粒子を微粒子と称する。また特に 100nm (1000 万分の 1 メートル) 以下の粒子を、超微粒子などと呼ぶこともある。微粒子は、巨視的な大きさの物体とは異なる熱的性質や、表面状態、分散性などを示し、大気中の粉塵などは有害な例であるが、工業材料から生体物質に至るまで様々な側面で特徴的な物理機能を発現させている。

(島田)

(C) 2004 筑波微粒子・界面・環境研究会, All rights reserved